

# 京都教区時報

第144号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

) 宣教司牧評議会の報告 (

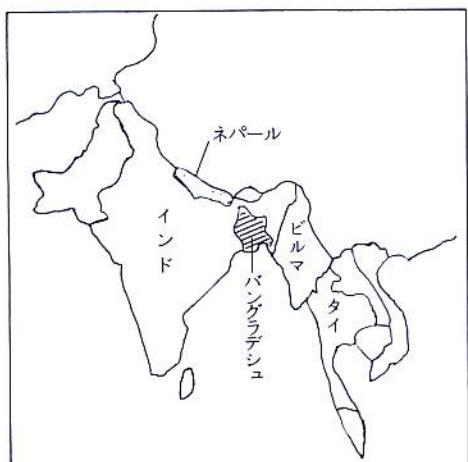


京都教区アジア交流委員会



最初の交流地は  
バングラデシュに決定！

チッタゴン司教区から  
ロザリオ神父を迎える



京都教区各ブロックで講演と分  
かり合いを予定しています。  
5月21日は河原町教会にてミサ  
と講演が企画されています。  
みなさん是非ご参加下さい。

宣教司牧評議会常任委員会報告 '89年2月24日

## 司牧評議会常任委員会の任務の一つは評議委員から 委ねられた議題を検討することにあります

ビジョン以後の見直しとしてかかえている問題を各グループから集めたところ、3つの優先課題が生れ、その中に情報のつまり（パイプのつまり）があることに気付きました。その情報のつまりを更に検討してみると、「情報手段つまりがある」と言う事と「福音の意識の問題」があるという事でした。これを回心と言う言葉で表わそうとしましたが、「キリストのまなざし」「キリストの姿勢」を取るという事がよいのではないかと言ふ事に「視点の変換」（それぞれの視点に合わせる）となりました。イエスが見つめられる方向、イエスが進まる方向を目指そうと言うのです。以下はそのための宣教司牧評議会における発題です。

### 議題

#### 1. 宣教活動補助金の審査について

2月24日の常任委員会で次の報告と議題が取り扱われた。

'89年度補助金については常任委員会で承認をするように依頼され

2月24日の常任委員会で次の報告と議題が取り扱われた。

#### 2. 宣教司牧評議会常任委員会報告

##### 1. 「回心」（福音的意識の養成）と表現を使つてきただが「イエスの視点への変換」に見える

##### 2. 宣教司牧評議会常任委員会の出前チームの設置

#### 3. アジア交流委員会発足

##### 1. 会計報告（時報143号参照）

##### 2. 文化国、パングラデシユ

##### 3. 通称（愛称）を考慮中

##### 4. ウォーカソンの利用について等

#### 4. 討議課題（討議の歴史）をふりかえつて

##### （時報143号司牧評議会報告参照）

#### 5. 結論

イエスの視点への転換  
(発題・宮西氏)

宣教司牧評議会、メンバーチェンジのお知らせ  
司牧評議会、メンバーチェンジのお知らせ

松本秀友師（常任委員）

バルデス師（高野教会）

齊藤翠（聖母訪問会）

廣瀬栄（聖母訪問会）

三重　　窪田真紀（鈴鹿教会）

修道女

斎藤翠（聖母訪問会）

廣瀬栄（聖母訪問会）



た。

申請についての説明。質疑の末承認され司教に答申。あとの事務処理は教区事務所にお願いする。

修会はすでに実行委員会が作られ動きだしている。

4. 教区時報編集部で(2)、(3)項のた

めの資料として冊子を作成する。

死蔵しないよう特に企画される活

動で利用、示唆していく。

に要望する。

(8月の「司祭、修道者、信徒研

修会」はすでに実行委員会が作ら

れ動きだしている。)

3. この期間中に教区内のいろんな

組織（例、信徒、司祭、修道者など）で企画される研修会のテーマ

を意識的に合わせてもらえるよう

を要望する。

おこすための具体的プランチーム

を発足させる。

「神父さんの話しそうかたよ」と言われ、自分ではそれなりに福音を伝えているつもりだった。ところが、素朴に真剣に生きていらつしやる日雇い労働者の方々にはまつたく通用しなかった。いつたいい、自分が信じてきた福音、読んできた福音、メッセージだと確信してきたことは何だったんだろう、大変なショックでした。

イエスがどうしてあんなに受け入れられていたのか、イエスの回りに集まる人々は本当に貧しく、病気と精神的悩みに満ち、絶えず心の中に声なき叫びをあげている人たちばかりでした。現代の日本の社会の中でのよせばの人々、或いは日本の因習が生みだした差別に苦しんでいる人々、出稼ぎの外国からの非常に不安定の中で生きている人々、孤独な老人、病気の人などかもしれません。また、私たちのもつとごく身近なところに、私たちの家庭の中にそういう人たちが含まれているかもしれません。イエスはそういう人々に受け入れられ、存在そのものが彼らを力づけていたわけです。

ところが、私が福音だと思って伝えてきたことは、ぜんぜん力がなかった。そこで私はまったく落ち込んでしまいました。私は、定期的に行われている夜のパトロールに参加させていただきました。まったく自信はありませんでした。

が私は労働者の方々、寝ている人々に直接かかわるリヤカーを引く役をすすんで選びました。きっとはた目には積極的にやろうとしているように思えたと思います。しかし、本心を言えば恐かったです。みんなそれぞれ毛布をかかえ、コートをかかえて分散していく私一人がリヤカーのところに

**聖書を生きる(1)**  
本田哲郎師

聖香油ミサ講演会より  
'89年3月22日

「毛布いりませんか。」と声をかけられてこちらを見たんです。「うるさい」と言われるのでは。だけどそれはた目には積極的にやろうとしている人がほんとうに遠慮そうに微笑まれていたんです。

「いや、にーちゃんすまんな、おおきに」と言われ、私はその時は、じめて解放ということがどういうことか、本当にほつとするいうことがどういうことが教えてされたような気がしました。その時から私の福音理解がかわったのです。

私はこれまで、私たちに福音があり、その方たちにはまだないから、私たちがその方々に伝えるんだと考えていたんです。ところが実際に、その逆だったんです。その路上で寝ていたわざかな微笑みが私に福音をおしえてくれた。そして私を解放してくれました。

聖書の注解書からぜんぜん汲み取れなかつた聖書の意味を教えてもらいました。私たちキリスト者が非キリスト者に福音を伝えるんだと錯覚をもつていています。ところが、そうではないのです。イエス様が群衆に向つて特に、山上の残つて、ふと見るとそこに一人の方が寝ていらつしやる。いけ垣の下で暗いところであまりよく見えませんでしたが、最初に私の頭によぎつたことは「見なかつたことにしようか」ということでした。しかしここで逃げてしまつてはメンツがつぶれる。メンツにひつかり、その人に声をかけることにしました。とてもビクビクしました。

「毛布いりませんか。」と声をかけられてこちらを見たんです。「うるさい」と言われるのでは。だけどそれはた目には積極的にやろうとしている人がほんとうに遠慮そうに微笑みました。

「いや、にーちゃんすまんな、おおきに」と言われ、私はその時は、じめて解放ということがどういうことか、本当にほつとするいうことがどういうことが教えてされたような気がしました。その時にその女性はいやされました。

キリストが福音書の中で、まず貧しい人々、もつとも小さな人々のところに行きなさいといわれるのはそういうことなのです。あなたが神の命をもつていきなさい。そんなメッセージではないんです。そのもつとも弱い立場におかれたら人々のところであなたがいやされるのです。あなたが福音化されるのです。あなたのところであなたがいやされるのです。あなたが福音化されるのです。そして本当の神の道具となるんです。そこが出发点です。

最近、貧しい人々の選択とか、貧しい人々を優先的になどとたびたび聞くことがあります。これは本当に福音的アプローチです。それはただ単に私たちが貧しい人々を選んで福音を伝えるということではなく、私たちの教会のメンバーや本当にその人々と関わりを通して福音化されていく。キリストにふれさせていただくということなのです。

LOVE

# 異なったもの同志 交わる喜び

田中麻美 ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

京都教区アジア交流委員会(KYOSIA)が正式に発足しました。まだ歩き始めたばかりの私達。期待や不安を胸に、それでも喜びとその意義はしっかりと持ちつつスタートしました。そのメンバーの一人として私も微力ながらお手伝い出来ることを幸福に感じています。交流と聞いて、"いついかがりをするんだ"とか"そんな事に何の意義がある?"と言われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし私がこれらに関われたことを喜びとする気持ちを少しでも分かち合うことで御理解いただけたら幸いと思います。

私は2年前にあるイベントに参

加し22ヶ国の青年と1週間寝食を共にしたことがあります。そこで言葉にハンドディはありましたがみんなでいろんな話をしました。教育の話や結婚観などから経済・文化の話と興味あるディスカッションでした。その中で私がおもしろいなと思った事は、自分が今まであたり前と思っている事が彼らには不思議でならないから、彼らを通して自分の中へ新しい発見がたくさんありました。またこんなハプニングもありました。ディスカッションの最中にイスラエルの

青年が私たちのグループに入つて来たのですが、いきなりエジプトの女の子が"私はこれから何も話しません。私はこの人きらいです"

と言いました。一瞬、剣悪なムードになり、彼から彼女に理由を聞いたのですが"私は戦争する人がきらい"と言つていました。

私は人との関わりを大切にしたいとこれまで考えてきました。そ

してこれからもそうしたいと望んでいます。人との出会いの中でキ

リストを見い出すことも出来たし

人として人と共にいる喜びを大切に思います。人という字が互いに

よりそい支えあつて成るように私

も人とよりそい親しみ助け合つて生きていきたいと思います。そし

てキリストが作られた共同体の素

晴しさもそこにあると確信してい

ます。開かれた教会づくりを目指

めの企画などです。

そして、このたび交流地がバン

グラデシユに決定しました。まだ手探りの状態です。教区の皆

様方のご理解とご支援をお願い致します。

なお、アジア交流委員会委員長は平竹耕三さん、副委員長は田中真澄さん、梅原秀夫さん。顧問、オヘル師、越知師です。

かりでなく、苦しいこと、難しい

ち合うことで倍になります。対象

が小さな都会の中であれ、大きな

アジアという共同体で見た場合で

あれ、その中で行なわれる出会い

に違いはないはずです。私はこの

見い出し、彼らも私達から見い出

す。それぞの違いを受け入れ合

った上で互いを受け入れあう。難

かしい理屈をのべなくとも、出会

ったことで友情や親しみが生まれ

るのは自然なことであり、それか

ら生まれた互いの絆はお互いが持

つていた壁を取り払う手だてにな

ると信じます。

## ▼アジア交流委員会の構成について

アジア交流委員会は現在23名の委員で運営しています。さらに委員会では、ヨリスムーズに運営していくために、直接交流をしていくグルーブと、交流をしていくグルーブとでできています。

基金グループは、資金運営のための企画などを実施するための勉強会の企画、また教区の皆様への広報活動、涉外などです。

基金グループは、資金運営のための企画などです。

そして、このたび交流地がバン

グラデシユに決定しました。まだ手探りの状態です。教区の皆

様方のご理解とご支援をお願い致

します。

なお、アジア交流委員会委員長は平竹耕三さん、副委員長は田中真澄さん、梅原秀夫さん。顧問、オヘル師、越知師です。

かりでなく、苦しいこと、難しい

ち合うことで倍になります。対象

# きょうと ♦ し が ♦ な ら ♦ み え

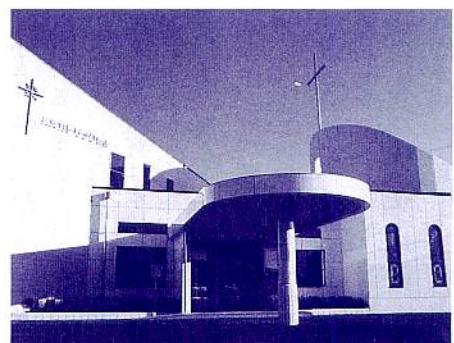
長浜教会……

## うつわ

文責 青年部

1988年12月18日  
新しい長浜教会の建堂式  
が行われました。遠方から、たくさんお越しいただきました。また、たくさんの方々の御寄付をいただき、長浜教会には過ぎない程の建物をいただきました。心から感謝を申し上げると共に、申し訳ない思いもします。

私達にとって、日曜日主の家に集うのは、安らぎを求める、生きる糧をいただく為ではないでしょうか。今の教会は、安らぎを奪われ、苦しい思いをし、生きる糧である御聖体までも奪われている人もいるのです。地域に開かれた教会を目指してた教会も、信者の中で開かれていらない今、地域の中で、生かすことは難しいと思います。いろんな圧力に目をとじて、身を低くしているだけでは、生かされません。通りすぎるまで待つのも限度があります。今私達は、うつわを使っています。通りすぎることが出来るか、分かれ目にきております。多くの方々の力を、借りて出来上がった教会です。私達の教会です。新しい教会



新しい教会です '88年12月18日

が、私達に活力を与えたのも事実です。  
新しい教会になり、今望むことは、全ての人達が、ありのままの自分でいられる教会でありたいということです。うつわにおしつぶされたたくないという意地と、自分たちの教会を守り育ててゆこうという気持ちで、今、長浜教会の面面は、大きな一步を踏み出そうとしております。

その第一歩として、子供向けの映画会を開いたり、日曜学校、コンサートなどを行ったりして、地域の人々が教会に触れる機会を、多くもてるよう計画しています。

できたらいいなあ

### ウォーカソン募金を

- みどり一本運動
- スリランカ

100万円

510万3,553円

送りました。みな様ご協力ありがとうございました。うつわを使ひがとうございました。今年もよろしくお願ひします。

永年の信用と実績 真心のこもったご奉仕

(葬祭センター)

株式会社

# 公益社

本社・烏丸三条下ル ☎ (075) 221-4116(代表)

北支社・京都市北区紫明通堀川東入  
南支社・宇治市模島町・文教短大前

美しい印刷

(株)からふね屋

京都市左京区東山通仁王門下ル  
〒606 ☎ (075) 761-1166(代表)

和洋紙卸

(株)都産紙

京都市中京区三条通富小路東入  
〒604 ☎ (075) 221-3233(代表)

## ★ 聽く見る

学ぶ★

## 高校生の

## 「夏期フィリピン体験学習」

## 日星女子高等学校



'88年マニラ「ナボタス」地域の体験学習より

容赦なく照りつける太陽のもと、マニラ市にあるスマム、レベリーの狭い路地を歩いていると、一人の日本人に出会った。「日星高校の先生でしょ。」声をかけられて驚いていた私に、「今、生徒さんにはいましてね、ぜひ先生の話を聞きたくて。」彼は毎日新聞社の記者であった。「日本の女子高生が、どうしてフィリピンの研修に来るので。」「フィリピンのどんな地域を訪れるのか。」「どうしてスマム街に入るのか。」職業柄、次々に質問を投げかけてきたが、彼の心の根底にあるフィリピンへの愛情が、こちらにも伝つて来るよう、時の過ぎるものも忘れて、こ

昭和57年夏からスタートした本校の「夏期フィリピン体験学習」も既に7回目の実施となつた。  
「小さく弱い立場の人々と共に生きられる」生徒を育てる教育目標のもとで、宗教教育、福祉教育、国際理解教育は本校の教育実践の3本柱である。

幸いフィリピンには、学園の経営母体である聖母訪問会のシスターが、1976年から、ルソン島北部のイザベラ州のギバンで医療活動をしている。このシスターの呼びかけがなければ、この研修の実現は困難であつたと思う。

マニラ市では、教会見学、障害者の学校での交流、スマム街―ナボタス、トンド、レベリーサ等の1日体験学習。

イザベラ州では、司教様との懇談の夕べ、高等学校への体験入学、ホームステイ体験、農村の生活の体験、地域の人々との交流。

バギオ市では、シスター海野のお世話で、日系2世、3世の方々との交流。

体験学習の中で最も重要な点は人との交流、異文化の中で学ぶ積極性である。イザベラ州では、既

政権の変動、経済と社会情勢の不安定なフィリピンへの高校生レベルでの体験学習は決して安易なものではなかつた。

例年、全校生の中から10数名の希望者を選考し、事前のオリエンテーションと共に、生徒達自身でフィリピンの歴史、社会、産業、言語などを調査し、各自で研修テーマを定めて準備を進めていく。

その過程においてグループのまとまり、研修への心構えが作られていく。期間は約2週間。費用は約15万円。訪問先はマニラ市、イザベラ州の農村と周辺の町の高等学校、そして日系人の多いバギオ市である。

マニラ市では、教会見学、障害者の学校での交流、スマム街―ナボタス、トンド、レベリーサ等の1日体験学習。

本校では、また、数年前からフイリピンの高校生を数名ずつ招き約1ヶ月間の体験入学を実施している。

フイリピンとの交流、それは決して安易なものではないが、参加した生徒達は必ず「将来、きっとまた行きたい」「フイリピンのために、何か自分を役立てたい」という。

若い世代の国際交流は重要である。教区レベルで、アジアの青少年と交流のもてる日が実現することを念願し、微力を尽していくたい。

に4つの町の高等学校と交流をもち、生徒達の家庭で、ホームステイをさせて頂いている。トイレも完備せず、浴室もない。電燈さえまだ不充分な、現地の農村の生活に接して、物質文化の進歩では解決出来ない人間の生き方の原点にある目に見えない大切なものを、若い生徒達の心がとらえてくれる。それはフィリピンの人々の信仰の深さであり、愛の深さであり、明るさである。

そこには、家族の連帯、隣人への思いやりが育っている。貧しい心でなければ見えない神への信仰の深さがある。

本校では、また、数年前からフイリピンの高校生を数名ずつ招き約1ヶ月間の体験入学を実施している。

フイリピンとの交流、それは決して安易なものではないが、参加した生徒達は必ず「将来、きっとまた行きたい」「フイリピンのために、何か自分を役立てたい」という。

若い世代の国際交流は重要である。教区レベルで、アジアの青少年と交流のもてる日が実現することを念願し、微力を尽していくたい。

(文責 伊藤武志)

## 丹後合同青年会

### 春の合宿に参加して

**あんてな (((((((( )))))) )**

去る4月1日(土)から2日(日)にかけて、宮津のグラチアホームで、東京より雨宮慧神父様をお迎えし、春の合宿を行なわれました。テーマは「労働と福音」です。2日間を通して、「私にとって仕事と社会の関わり」の3つの課題について青年の体験や神父様の話を聞き、グループに分かれて分かちあいをしました。その中で私が感じたことを少し書きたいと思います。

神父様の話の中に、いくら朝早くから夜遅くまで働いても、そこには神様が共におられなければそれはむなしものである。とか、神様は労働を通して、私達に、賛美や感謝を求めておられるという話があつたと思いませんが、今までの自分は、やはり、賛美とか感謝よりも先に、苦しさやむなしさの方が強く感じられていました。神様が一緒にいなかつたというより、私が拒否していたといつた方が正解かもしませんが。

そういうことで、私は、



岡田信作(丹後大宮)

今は、仕事を通しての人間関係や社会の中で、神様を感じ、それを感謝していきたいと思いましたが、これからもたぶん仕事に追われて一日が過ぎていくだろうと思います。しかし、せめて気持ちだけでも心にゆとりをもって生活していくと感じます。

私にとって仕事の話を真剣にしたのはこれが最初のよう気がします。神父様の話也非常にわかりやすく述べられましたがたくさんありました。なんか久し振りに充実感のある合宿でした。

神に感謝。

RCIA '89。ちょっと聞きなれぬ言葉ですね、意味は教区合同洗礼願式。その喜びの様子は、前号で報告されました。

これは昨年、津の研宗館での司祭の夏期研修会のみのりの一つ。

RCIAは英語單語の頭文字の略字です。でも正確な綴り、なかなか憶えなくてすみません。

さてちょっとした「夢想」

とおつき合いください。合同司式で、仲間意識はふえたでしょうし、いろんな感動もあつたと思います。それはとてもよい事でした。

さて、この合同司式の意味

は、神の民は(主任司祭ではなく)司教を中心とした信徒の集まりであると言う事にあるのでしょうか。教会の基本的な単位は、司祭でなく、司教を中心とした集い。ですから

**ちょっとあなたも (18)**

### ちょっとわたしも

## そこからもう一步

(者名簿を保管する)

(さらに完全におこられる事を覚悟して)経済を一本化する。つまり維持費は全部教区に納める。

市内なら三条の教会で)

要理クラス等、出来るところは

一ヶ所に集中にする(例えば京都

教会が多いところでは、年齢層や活動等の特色を現わす事を中心に

した教会にする。信徒はどこに行つてもよい(そのためにも、教区一教会、或いはプロ

ック一教会の意識に基いた、具体的な組織の再編成をする)

本当は合同洗礼式。洗礼式がだめなら堅信式を合同で行

い、一つの民であることを証しする。

教会行事を出来るかぎり一本にする。信徒が一同に会するため、ある日曜日は一所に集つて、自分の小教区のミサをやめる(例えば共同回心式をする時などを機会に)等々……。

たぶん勝手な事を言うと叱られるでしょう。でも叱られる事は関心があること。それにこの夢想、まことに貧しく、まだまだ豊かな内容にしなければ。又夫々の長短を論議すべきでしょう。それが若しあれば。今度は目ざめて。

ここからいろんな夢想が起ります。例えば洗礼台帳は教区のものに一本にする(小教区には信

(M・T)

# お知らせ

オプスディ会異動

ロペス師 長崎へ転任

尾崎師 京都吉田学生センター

## 教区スケジュール

5月

- 3日 三重信徒大会
- 5日 右近こども祭(棒原)
- 13~14日 子羊会代表者会
- 15日 京都南部司祭例会
- 19日 SVP理事会(河原町)
- 21日 親交会例会
- 28日 ガラシヤ祭
- 安土セミナリヨ記念ミサ
- 子羊会默想会
- 西院教会堅信式

## 1. 司祭異動について

レデンプトール会司祭の異動

(90年正式任命までの暫定的任命)

マルセル・ブレ師(報恩寺・福知山)

綾部教会代理主任を兼務(4月の間)

ジャン・ラソンド師(東舞鶴)

ブレ師帰国の間綾部教会主任

代行(5月以降)

イネールメー師(西舞鶴)

東舞鶴及び中舞鶴教会代理主

任兼任(5月以降)

のためにこれからもお祈り下さい。



帰天

## ▼聖書講座のご案内

テーマ 詩編を祈る

パトリック・ホフマン師(48歳)

4月3日 PM 11時(米国時間)

もと衣笠教会助任司祭。セントルイス

のメリノール会で心不全の為に帰天。

主の復活の生命にあずかられる喜びを

お祈りします。

(MM)

日時 5月29日 PM 6時30分~8時30分

場所 カボンテの聖ヨゼフ修道会京都

レポートの聖ヨゼフ修道会京都

修道院

太田道子(聖書センター研究員)

講師 カロンデの聖ヨゼフ修道会

主催 レポートの聖ヨゼフ修道会

会費 500円

講師 太田道子(聖書センター研究員)

会費 500円

## ▼マルコ福音書シリーズ講演会

日時 6月13日(火)AM 10時~12時

場所 カトリック会館6F

講師 アナスタシア小久保(ノートルダム教育修道会)

対象 どなたでも

費用 200円程度(資料実費)

主催 京都カトリック教理センター

問合 〒606 京都市左京区仁王門通新

高倉東入 □075(752)0057

## ▼祈り、分かち合う召命默想会

日時 5月19日~5月21日

場所 ウィチタ聖ヨゼフ修道会本部

修道院

指導 静一志師(フランシスコ会)

対象 高3以上の女性

費用 4,000円

申込先 〒606 京都市右京区竜安寺御陵

の下町1 □075(462)0754

Sr天春まで□かハガキで

一粒の麦の種。地に落ちた。ある種は道端に。ある種は岩地に、ある種は花の中に、ある種は……どこに行つた?バイブルのつまり。これは水通しの方のつまり。煙幕。煙にまくつもりなし。(M)



▼今後の予定は11月24日、'90年1月29日、2月26日になっています。

どなたでもご自由にご参加下さい。

時報つてどれくらい読まれていのかな。読んでいただける興味ある記事一つでもありますか。(い)